

【令和5年度当初予算編成時】 令和4年度決算審査特別委員会の意見等対応状況（令和3年度決算）

1 一般会計・特別会計

(単位：千円)

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(1)	<p>防災対策については、職員の意識・能力の向上に努め、実効性のある緊急体制の構築に努められたい。また、避難所の在り方を抜本的に見直し、被災者や災害弱者に配慮した避難所運営を図られたい。あわせて、備蓄品の充足率を上げるよう努められたい。さらに、防災減災対策として道路や橋、下水道・公共施設など、インフラの長寿命化・老朽化対策の強化を図られたい。</p> <p>防火対策については、感震ブレーカー設置補助事業の普及拡大を図り、大震災時の通電火災の防止に努められたい。</p> <p>防犯対策については、関係部署と連携強化を図り、振り込め詐欺防止対策をさらに強化し被害が減少されるよう努められたい。</p> <p>防災・防犯対策として、ドローンについてさらなる活用に努められたい。</p> <p>感染症対策については、感染拡大防止と、市民生活の向上を両立できる基礎整備を図られたい。また、柏市業務継続計画（感染症編）における優先継続業務のうち、休止中のものは再開するよう努められたい。</p> <p>市民の安心・安全のために、消防・救急体制の充足に努められたい。</p>	防災対策	<ul style="list-style-type: none"> 職員対象の参集訓練や通信訓練、避難所開設運営訓練等の災害対応訓練を計画的に実施しています。また、災害情報管理システムの導入により、災害時の庁内における初動対応の迅速化と体制整備を進めています。 住民主体の避難所運営の実現に向けて、職員による支援やマニュアルの追加配備等を行っていきます。また、令和2年度から避難所における新型コロナウイルス感染症対策を講じてきましたが、更に、災害時に支援が必要な方々に必要な備蓄品の追加配備を進めます。 平成30年度に実施した被害想定調査結果に基づき、令和6年度までに、毛布や調理不要食等の不足物資を計画的に整備しています。 	防災安全課	37,633	45,696	50,076
		防災減災対策	<ul style="list-style-type: none"> 道路については、令和3年度に改定した「柏市道路維持管理計画」に基づき、橋梁については、令和元年度に改定した「柏市橋梁維持管理計画」に基づき、長寿命化・老朽化対策を進めていきます。 建物の保全を計画的・予防的に行うことにより、劣化の進行を遅らせ、公共施設の質を確保しつつ、長寿命化を図ります。 	道路保全課 資産管理課	1,047,037	1,007,168	1,374,000
		防火対策	<ul style="list-style-type: none"> 感震ブレーカーの普及拡大については、震災時における通電火災の予防に向けて、令和2年度に柏市感震ブレーカー設置補助金交付要綱を策定し、対象者に補助金の交付を実施しています。 市内の感震ブレーカー設置推進を図るため、継続的に市民への周知を図り、関係機関と連携して啓発活動を進めていきます。 	火災予防課	18	600	150
		防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> 柏警察署と連携し、特殊詐欺被害防止対策を進めてきましたが、被害は高止まりの状況が続いています。引き続き、関係機関と連携した被害防止対策に取り組んでまいります。また、被害防止に有効である対策電話機の普及、支援制度の周知にあたっては、介護保険料決定通知書にチラシを同封し、市民の手元に直接届けていきます。 	防災安全課	3,952	5,977	5,816
		防災・防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ドローンの活用については、令和元年度に導入以降、火災等の各種災害への対応力を強化するとともに、消防業務以外でも活動の場を広げ、産業廃棄物の不法投棄等を上空から監視する「スカイパトロール」にも協力しています。今後も災害発生時の市民の安心と安全性を高めるため、消防戦術の改善、機動力を強化するとともに不法投棄の抑止力となるよう努めていきます。 災害時には、消防局指揮統制課並びに協定締結事業者の協力を得て、被災情報の収集等に活用していきます。なお、防犯での活用については、関係機関と活用可否を含め検討していきます。 	指揮統制課 防災安全課	5,790	6,908	8,446
		感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策については、長期にわたる新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、今後新たな感染症等のまん延などの危機に対応するため、令和5年度に保健所の再編を含めた組織改編を実施します。新たに「健康医療部」を設置し、保健所を健康医療部の内部組織（健康医療部の出先機関）に改編します。また、保健所は公衆衛生に特化し、部内連携強化により、危機管理体制を強化します。 令和3年10月に国の新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針が変更され、新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動との両立が求められるようになって以降、その主旨にそって業務を行っています。令和5年5月8日の「新型インフルエンザ等感染症（2類相当）」から「5類」に変更後も、ワクチン接種等必要な感染関連業務を行いつつ、感染症発生前の日常への回復へ向けて、業務を進めていきます。 	D X 推進課 危機管理政策課	0	0	0
		消防・救急体制の充足	<ul style="list-style-type: none"> 消防体制については、近年の都市型災害に対応するため、各消防署に排水ポンプや大型排水ポンプを積載する車両の整備を進めました。更に、集中豪雨や地震等に起因する大規模災害に対応するため、小型重機や高度な救助用車両、資機材の整備を進めています。またそれに伴い、職員の資格取得等を促進し、研修や訓練の実施を進めていきます。 救急体制の充足においては、救急救命士を含む救急隊員の技術の向上を目的とした教育・救急体制の整備を進めていき、様々な救急現場に対応できる救急資機材等の整備をし、救急活動の充実強化を図っていきます。 	警防課 救急課	107,435	107,651	116,670

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(2)	<p>行財政運営については、世界情勢の悪化や物価高騰など先行きが不透明の中、市民生活を守るための予算編成に努められたい。ふるさと納税制度は一般に都市部の流出額が大きいため、引き続き制度の改善を国に求められたい。あわせて、交付税率の引上げによる地方交付税の確保や地方税の拡充を引き続き国に要望されたい。</p> <p>公有財産の未利用地については、全庁的に調査を実施し、積極的な活用を進められたい。</p> <p>税や保険料等の滞納整理については、滞納世帯の生活再建を第一に、実情の把握、納税緩和措置の周知を積極的に行われたい。</p> <p>契約について、特に随意契約締結に当たっては、財務規則、ガイドラインに沿って適切に実施されるよう管理監督体制の強化を図られたい。</p>	ふるさと納税制度	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年11月に中核市市長会より「令和4年度税制改正に関する要請」の中で「ふるさと納税における地方自治体の負担の縮小について」として関係省庁へ提出しました。 同じく11月に指定都市市長会及び中核市市長会より「国の施策及び予算に関する指定都市市長会・中核市市長会共同提言」の中で「地方税財政制度の再構築」としてふるさと納税制度の見直しについて関係省庁へ提出しました。 	市民税課	181,440	224,500	224,500
		地方交付税の確保や地方税の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 地方交付税の確保や地方税の拡充については、これまでも中核市市長会等を通して国に要望しています。今後も、中核市として担う事務と責任に見合う税財源の配分となるよう、また、社会経済情勢の変化に伴う追加の財政需要に対応できるよう、国税からの税源移譲や地方交付税の法定率引上げ、臨時財政対策債の廃止等の一体的な措置による地方税財源の拡充を要望していきます。 	財政課	0	0	0
		公有財産未利用地	<ul style="list-style-type: none"> 未利用地については、毎年、全庁に向けた未利用地調査及び転活用調査を実施しており、活用の見込みが無いとされた土地については、市ホームページ及び民間企業が運営している公共不動産データベース上に未利用地として公表し、売却や有償貸付等による活用を図っています。活用見込みのない土地については、引き続き、売却にむけた準備を進め、財源確保に努めていきます。 	資産管理課	0	0	0
		税や保険料等の滞納整理	<ul style="list-style-type: none"> 資力のない滞納者に対しては、事情を詳細に聞き取り徴収猶予や換価猶予の制度を案内する等、実情に合わせた対応をしています。借金等で納付の余力がない案件や、債権の時効等の法解釈が困難な案件については、専門知識を有する弁護士に業務を委任することにより、民間債務整理や生活状況の改善を提案し、納税の余力を生み出しています。今後も広報かしわ、HPにより納税緩和措置の周知を行い、弁護士も活用しながら収入未済額縮減及び収納率向上への取組を継続します。 	債権管理課	24,974	27,872	33,974
		契約	<ul style="list-style-type: none"> 随意契約を締結するに当たっての注意点、特に随契理由の妥当性について、職員研修の機会（契約事務適正化研修、新規採用職員研修、初級技術職員研修）や全庁掲示板を通じて、職員に周知してまいります。また、発注部署から提出される施行伺の合議に際しては、複数の職員によるチェックを徹底し、随意契約の理由が地方自治法施行令の規定に基づいているのか確認すること及び不適切な理由である場合は指導していくことを継続していきます。 	契約課	0	0	0

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(3)	<p>職員については、メンタルケア体制の充実に努めるとともに、過剰な負担がかかっている部署を中心に職員定数の確保に努めるなど、職場環境の改善を図られたい。また、職員採用に当たっては、幅広く周知・募集を行い、優秀な人材の確保に一層努められたい。</p> <p>DX推進については、職員の業務効率化を進めるとともに、電子申請システムなどデジタル技術の活用による住みやすいまちづくりの推進に努められたい。あわせて、地域の人材を活用し、安心してデジタル技術を利用できるサポート体制の構築を図られたい。</p> <p>SDGsについては、ゴール達成に向けた具体的な取組につなげるよう努められたい。</p> <p>選挙については、期日前投票所の増設、共通投票所の設置、子連れ投票の推進など投票率向上に向けた対応をさらに進められたい。</p>	職員	<ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生法に基づき、平成28年度に「柏市職員こころの健康づくり計画」を策定し、職員のメンタルケア体制整備を進めています。 メンタルヘルス不調の未然防止については、全職員対象に、年1回「ストレスチェック」を実施し、高ストレス者支援、職場環境改善に繋げています。 メンタルヘルス不調の早期対応及び復職後の健康の保持増進については、庁内外のメンタルヘルス相談、産業医や保健師、精神保健福祉士等の面談を実施する等、必要な支援に繋げています。今後も、職員のメンタルケア体制の充実に努めます。 時間外勤務の上限規制に基づき、時間外勤務の多い部署についてはその業務内容や手法について検証・分析を行い、職場環境の整備を図るとともに、適切な定員配置に努めます。今後も、職員のワークライフバランスが実現できるよう、待遇改善に努めます。 職員採用については、多様な人材の確保を目指して、公務員試験対策不要の試験区分や、スポーツ・芸術で秀でた経験を持っている者が受験可能な試験区分などを設けて受験者への門戸を広げています。今後も時代に即した採用試験を検討・実施し、また求職者に適切なアプローチをすることで優秀な人材の確保に努めます。 	人事課 給与厚生室	19,881	23,080	28,562
		DX推進	<ul style="list-style-type: none"> DX推進については、令和4年4月に策定した「柏市DX推進ガイドライン」に基づき、住みやすいまちづくりの推進、及び地域人材を活用したデジタル技術を利用できるサポート体制の構築を進めていきます。 行政手続きのオンライン化を進めており、令和5年4月中には公式LINEによる住民票の写しの取得申請の受付を開始します。その他の行政手続きについても順次オンライン化を進めていきます。 国のデジタル活用支援推進事業として、柏市内の地域の携帯ショップにおいても、デジタル機器・サービスの利用方法に関する講習会が実施されています。今後も国の動向を注視しながら、安心してデジタル技術を利用できる環境構築に努めていきます。 	D X 推進課	1,281	2,377	9,576
		SDGs	<ul style="list-style-type: none"> 柏市におけるSDGsの活用の考え方をまとめた「柏市SDGs（持続可能な開発目標）活用のためのガイドライン」を作成し、庁内をはじめ様々な分野においてSDGsを活用しているところです。また、SDGsの活用を促進するため、職員に向けて思考の醸成や標準化を図る一方で、多様な主体と連携しながらSDGsに取り組む際の行政の役割や連携の必要性、持続可能なまちづくりの重要性について、外部に向けて発信しています。 	経営戦略課	0	62	62
		選挙	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月9日執行の千葉県議会議員一般選挙において、セブンパークアリオ柏に期日前投票所を新設し、選挙人の投票環境の向上を図っていきます。 共通投票所については、すべての当日投票所を結ぶ安定した通信環境の構築や、特定の投票所に選挙人が集中した場合の対応等の多くの課題があるところですが、今後も他市の事例等を調査研究してまいります。 小中高生を対象に出前授業を毎年実施しており、その中で選挙の大切さを教育しています。併せて、令和5年4月9日執行の千葉県議会議員一般選挙では、広報かしわや柏市ホームページ、SNSなどを利用して、子どもを連れて投票所に来ることを呼び掛けるとともに、子ども向けの啓発品として折り紙を投票所で配布します。 	選挙管理委員会事務局	135,591	144,257	301,140

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(4)	近隣センターの改修については、その質・経費ともに平等性に十分配慮した事業実施に努められたい。 ウクライナをはじめ、国外からの避難者支援については、医療・福祉・教育などのサポート体制の充実を図られたい。 スポーツについては、スポーツ施設の所管部署だけでなく、包括的な施策として効率的な運用になるよう、スポーツ施設の充実と老朽施設の改修・再整備を図られたい。 国民健康保険事業については、納付者の立場にも配慮し、保険料の軽減も含めさらなる制度の改善に努められたい。 多様化する消費生活相談への対応については、引き続き消費生活センターの相談体制を強化し、相談員の待遇改善に努められたい。 コロナ禍で増えている自殺、DV、虐待、産後鬱などへの対策・支援を強化されたい。	近隣センターの改修	・柏市公共施設等総合管理計画及び個別施設再編方針を踏まえつつ、南部近隣センター並びに高田近隣センターのリノベーション事業の効果を検証し、個々の施設の老朽化状況に応じた改修を検討します。	市民活動支援課	116,443	404,275	364,605
		国外からの避難者支援	・ウクライナからの避難者支援については、柏市社会福祉協議会などの庁内関係部署や柏市国際交流協会と連携し、避難されてきた方々の気持ちに寄り添った医療・福祉・教育などの支援を図っていきます。	共生・交流推進センター	0	0	0
		スポーツ	・スポーツ施設については老朽化が進んでいることから、現場の状況を確認し、優先順位をつけながら随時修繕等を行っているほか、公共施設等総合管理計画や短期保全工事計画に基づき計画的な施設整備を行っているところです。今後も様々な工法を工夫しながら効率的・効果的な施設整備に努めます。	スポーツ課	77,476	202,995	135,666
		国民健康保険事業	・被保険者の高齢化や医療の高度化などによる国民健康保険事業費納付金の増加や千葉県保険料率激変緩和措置の段階的な縮小等に伴い、現在の保険料水準を維持することは困難な状況にあります。しかし、物価高騰等が継続する社会状況を考慮し、国民健康保険事業費納付金に対する不足分については、国民健康保険事業財政調整基金を充当することで、令和5年度の保険料率改定は見送りました。 ・今後、保険料率の改定については、国民健康保険運営協議会の中でも御議論いただきながら慎重に検討していきます。	保険年金課	882,446	1,129,445	1,790,985
		多様化する消費生活相談への対応	・消費生活相談の相談体制については、市民から寄せられる相談が複雑化、多様化しています。これらに十分に対応できるよう、相談員の研修参加や情報収集の機会を確保し、スキルアップを図っていきます。 ・相談員の待遇については、会計年度任用職員制度に則り、適正に労務管理をしています。	消費生活センター	24,320	29,793	30,785
自殺、DV、虐待、産後鬱などへの対策・支援	・自殺対策については、令和3年度から、ICTを活用した相談事業である「インターネットゲートキーパー事業」を導入し、令和4年度も継続しています。柏市内で自殺に関する検索をした方に対して相談窓口のアクセス先を表示し、自殺のリスクから遠ざけるとともに専門相談窓口への支援につなげます。相談者に占める女性・若年層の方の比率が、いずれも70%前後と高く、コロナ禍で自殺者数の増加が見られた女性や若年層への有効な対策の一つとなっています。 ・DVへの対策・支援については、男女共同参画センターで「女性のこころと生き方相談」を実施しており、それぞれの相談内容に合わせて、必要な情報提供や、状況に応じた関係機関との連携に努めていきます。 ・児童虐待については、「（仮称）柏市子ども・若者総合支援センター」の開設を含め、令和5年度はこども支援室の人員体制を一層強化し、要保護児童対策地域協議会の構成機関との連携のもと、支援を要する児童や家庭の早期発見、早期支援に取り組みます。 ・産後うつなどへの対策・支援については、出産後、家族等から十分な育児等の援助が受けられず、特に育児支援を必要とする家庭を対象に、産後も安心して子育てができるよう、宿泊または通所サービスを利用して、母親の心身のケアや育児サポートを行っています。令和4年11月より宿泊型・通所型・訪問型を拡充しており、今後も支援の充実を図っていきます。	福祉政策課 共生・交流推進センター こども支援室 地域保健課	33,889	50,090	64,068		

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(5)	環境政策推進事業については、脱炭素社会の実現を目指し、持続可能な再生可能エネルギー普及に努め、引き続き一層の温暖化対策に取り組まれない。また、使い捨てプラスチックの削減及び再資源化を進めるため、全市民にアピールできる事業に取り組まれない。あわせて、電力購入の際には、環境に配慮された電力購入へと変更するように配慮されたい。 塵芥処理事業については、ごみの戸別収集の利用者拡大を図られたい。また、ごみの減量、とりわけ事業系ごみの減量に積極的に取り組むとともに、3Rの周知徹底を図られたい。	環境政策推進事業	・脱炭素社会の実現に向け、まずは一事業者としての市役所が温室効果ガスの削減を進めるため、令和4年度に柏市役所ゼロカーボンアクションプランを策定しました。このプランに基づき、照明のLED化、太陽光発電設備の設置、公用車の電動化、ZEBの推進、自治体新電力による電力供給に取り組むとともに、環境配慮電力の調達を進めていきます。 ・使い捨てプラスチックの削減及び再資源化について、削減に関しては、令和5年2月に、柏市が一事業者として率先してプラスチックの削減に取り組むことを主な内容とした「柏市プラスチック・スマート宣言」を行いました。今後は、庁内における取組を進めるほか、これを市民・事業者にも広く周知することで市全体での削減につなげていきます。また、再資源化に関しては、風呂おけやバケツといった、いわゆる製品プラスチックの再資源化に向け、先進自治体における事例の研究に努めていきます。	環境政策課 廃棄物政策課	37,153	35,327	107,818
		塵芥処理事業	・ごみの戸別収集であるごみ出し困難者支援収集は、要介護3などの基準要件を満たさない方につきましても、個々に抱えているお困りの状況を伺った上で柔軟に対応しており、今後も継続して支援をしていきます。 ・事業系ごみの減量については、令和4年度中に柏市一般廃棄物処理基本計画を策定し、今後10年間における、事業系ごみを含む一般廃棄物の減量に向けた施策に取り組めます。具体的には、事業系古紙類のリサイクル推進についてリサイクル業者と連携したリサイクルの推進を行ったり、優良取組事例を抽出し事業者に対し効果的な情報発信を行うなど3Rの周知徹底を図っていきます。	廃棄物政策課 南部クリーンセンター	839	1,596	1,419
(6)	子育て支援については、保育園待機児童の解消を進めるとともに、保育の質の向上及び保育士の待遇改善を図られたい。また、子ども医療費助成制度は高校3年生までの対象拡大に向け、引き続き努められたい。また、放課後子ども教室の拡充など、子どもが大人の見守りの中で自由に過ごすことができる多様な居場所づくりに努められたい。また、妊娠子育てセンター業務について、切れ目ない支援につながるよう努められたい。ヤングケアラーへの対応については、実態調査と支援体制の充実を図られたい。	子育て支援	・待機児童解消のための施設整備については、令和2年3月に策定した「第二期柏市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、既存幼稚園の幼保連携型認定こども園及び幼稚園型認定こども園への移行と、私立認可保育園の整備等を中心に行う予定です。 ・保育の質の向上については、「子どもの最善の利益を考慮し、一人ひとりの健やかな育ちを保障する保育」の提供を引き続き行えるよう、公立・私立が連携し、オール柏で取り組んでいきます。 ・保育士の待遇改善については、平成29年度から、市内の私立認可保育施設（保育園・こども園等）に勤務する保育士（正規・非正規フルタイム）に対し、待遇改善を実施しています。引き続き、保育士の待遇改善に取り組んでいきます。	保育運営課	1,355,931	1,921,425	2,108,698
		子ども医療費助成制度	・令和5年4月1日より高校3年生相当の年齢の児童までに子ども医療費助成制度を拡大する予定で、令和5年度当初予算に予算を計上しています。また、令和5年4月1日から令和5年7月31日までは償還払いにより助成を行う予定ですが、8月からは高校生相当の年齢の児童にも子ども医療費助成受給券を発行し、現物給付とする予定です。	子ども福祉課	0	0	226,832
		放課後子ども教室の拡充	・国の「新・放課後子ども総合プラン」では、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な活動・体験を行えるように、放課後児童クラブ（こどもルーム）と放課後子ども教室の一体的推進が求められています。放課後子ども教室ステップアップ学習会では、子どもの安全で健やかな活動場所の一つとして、小学校の余裕教室と地域ボランティアを活用した補充学習支援を引き続き行っていきます。また、コロナ禍で縮小していた事業規模を従前の状態に戻すことで、居場所づくりに努めます。今後は、地域との関わりの中で幅広い体験や経験ができ、かつ居場所の拡充となることを目指し、令和4年度のモデル事業を基にした取組を進めます。	生涯学習課	18,030	26,062	30,500
		妊娠子育てセンター業務	・柏市妊娠子育て相談センターでは、子ども及びその保護者、妊娠している方に対する教育・保育・保健その他の子育て支援、各事業の円滑な利用と、不安や負担の軽減を図るため、妊娠期から子育て期までの様々な状況に応じた総合相談及び支援を実施しています。 ・令和5年2月より伴走型支援を開始し、妊娠期から出産・子育て家庭に寄り添い様々なニーズに即した支援の充実を図っています。	地域保健課	38,328	44,769	49,856
ヤングケアラーへの対応	・ヤングケアラーについては、子ども支援室と学校や教育委員会との連携を一層密にし、教職員への調査、児童へのアンケート、スクールソーシャルワーカーによる調査、児童への面接等を通じて、要支援児童の実態把握に努めます。把握した要支援児童については、要保護児童対策地域協議会の管理のもと、必要に応じて家事支援等の提供により、家庭の負担軽減に取り組めます。	子ども支援室 児童生徒課	0	0	0		

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(7)	<p>かしわフレイル予防ポイント制度のさらなる普及を図るとともに、フレイル予防等による高齢者の健康寿命の延伸を図られたい。</p> <p>福祉人材確保対策事業については、相談会のさらなる充実を図るとともに、若年層等へのアプローチや処遇改善等、具体的かつ多角的に取り組まれたい。</p> <p>生活保護支援については、国基準のケースワーカーの配置を行うとともに有資格者割合の増加を図られたい。</p> <p>各種がん検診については、検診率の向上に努められたい。</p> <p>不妊治療については、不妊相談を行うことで、医療機関とは違う視点での幅広い情報提供に努められたい。</p>	かしわフレイル予防ポイント制度	<p>・かしわフレイル予防ポイント制度の普及については、啓発品を作成・活用しながらイベント等での啓発活動や出張カード発行により制度利用者の増加に取り組んでいます。また、現在はホームページの見直しと啓発用パンフレットの作成を進めており、令和5年度は、他部署や事業者と連携し、地域での講座や交流の場を利用していないかたも対象に、ショッピングモールやイベントなど生活の中で市民が訪れる場において広く啓発等を実施することで、さらなる利用者増加に取り組む、高齢者の健康寿命延伸を目指します。</p>	健康政策課 地域包括支援課	19,478	35,665	44,502
		福祉人材確保対策事業	<p>・介護のしごと相談会については、SNS等を活用したイベントの周知を強化し、若年層も含め多くのかたが介護サービス事業所とマッチングできるよう努めています。</p> <p>・処遇改善については、令和4年に国が行った処遇改善の対象とならない介護支援専門員に対して処遇改善を行っています。</p> <p>・介護人材の確保にあたっては、何か1つの施策で解決できるものではないため、資格取得費用の助成などの職員の定着に繋がる環境を整える支援など、有効な施策を組み合わせ取組みを進めています。</p>	高齢者支援課	6,607	16,043	72,429
		生活保護支援	<p>・ケースワーカーについては、今後も人事担当部署に国基準の配置実現に向けた増員を要望するとともに、社会福祉主事の資格取得のための受講を勧めていきます。</p>	生活支援課	351	563	563
		各種がん検診	<p>・各種がん検診の受診率向上の取り組みにおいては、新規対象者への勧奨通知として胃内視鏡検査の新規対象者となる50歳と、職域での検診機会を喪失する可能性のある65歳を追加し、受診者数の拡大を図っていきます。</p>	健康増進課	12,241	11,043	12,317
		不妊治療	<p>・柏市では、特定不妊治療費の助成事業を通じて申請の中で、相談のあった方に対して相談に応じる対応を中心に行ってきましたが、助成事業自体は令和4年度を以って終了となることを受けて、国の施策としては不妊の相談に留まらない、「性と健康に関する相談」を受けられる体制を検討中です。</p> <p>当市では、すでに「妊娠子育て相談センター」を中心とした母子保健事業を展開しているなかで、市民が様々な内容について相談しやすい事業展開を行っているところではありますが、国の制度趣旨などをさらに踏まえた対応となるよう研究を深めます。</p>	地域保健課	251,066	95,412	2,311

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(8)	<p>学校施設については、人口減少社会に伴う小規模校等、将来を見据えた対策を図るとともに、長寿命化計画の適切な推進を図られたい。</p> <p>インクルーシブ教育については、小中学校における障がい者スポーツ選手との体験授業を通して推進を図られたい。</p> <p>小中学校の教員の長時間勤務を改善するため、市としてできる具体的な対応を行うとともに、教員の未配置をなくすための取組を強化されたい。</p> <p>学校給食の段階的な無償化に努められたい。</p> <p>学校トイレでの生理用品無償配付をさらに進められたい。</p> <p>文化財保護事業については、歴史的な建造物の維持保全に取り組むとともに、積極的な広報活動を通じて歴史と文化のまちとなるよう努められたい。</p> <p>生涯学習ボランティアについては、明確な事業目標とともに、ボランティアそれぞれが十分にその特性・能力を発揮できるようさらなる環境整備に努められたい。</p>	学校施設	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会に伴う小規模校等の将来を見据えた対策については、令和5・6年度に2か年で「新しい学校のあり方」を検討し、新たに（仮称）未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針の策定を行います。 校舎の長寿命化改良事業については、柏市学校施設個別施設計画や令和2年度に完了したモデル校（土小学校）の事業実績を踏まえ、設計及び工事を進めているところです。令和5年度は、現在設計中の柏第四中学校に加え、新たに高田小学校の設計を実施します。また、工事においては、現在施工中の田中小学校に加え、令和5年度より西原小学校の工事に着手します。 	教育政策課 教育施設課	39,870	405,786	553,447
		インクルーシブ教育	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、市内NPO法人と柏市障がい者スポーツ推進連絡会（事務局：スポーツ課）との共催により「パラバドミントン出前授業」を実施しました。 令和5年度以降も市内関係団体との連携を図っていきます。 	指導課	0	0	0
		小中学校教員の長時間勤務改善	<ul style="list-style-type: none"> 柏市としては、児童生徒の指導に当たる各種支援員や理科支援員、スクールソーシャルワーカーなど様々な会計年度任用職員を各学校に配置し、教職員の業務の負担軽減を行っています。また、部活動の地域移行や、ICTを活用した働き方改革の推進を通して、さらなる時間外在校等時間の削減に努めていきます。 教員の未配置解消については、新規採用教職員の確保と、フルタイムでの勤務だけではなく、授業のみの講師や兼務発令等、柔軟性を持った雇用形態への転換を、県教育委員会に強く要望しています。また、再任用終了者や教員免許の保有者への声掛け、講師登録会の周知などを積極的に行い、未配置解消に向けて努めていきます。 	教職員課	66	66	83
		学校給食の段階的な無償化	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年1月から第3子以降の学校給食費を無償化しました。無償化の更なる拡大については、財源の確保が大きな課題となるため、国や県に財政支援を求めていくとともに、子育て支援施策全体の中で優先度を検討していきます。 	学校給食課	128,851	144,992	311,564
		学校トイレでの生理用品無償配布	<ul style="list-style-type: none"> 学校における生理用品の無償配布については、従来の保健室等での配布に加え、令和4年度から小学校4年生以上の女子トイレ等への設置を開始しました。また、児童生徒の利用実態を踏まえ、令和5年度からトイレ個室への設置数を拡大します。 	学校教育課	0	768	2,079
		文化財保護事業	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な建造物の維持保全については、日常管理を行いつつ経年劣化の状況を定期的に観察しながら、適切な時期に適切な工事を行えるよう努めます。 歴史と文化のまちづくりにつきましては、令和5年度に文化庁の認定予定である、「柏市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財所有者や関係団体と連携し、歴史的な建造物を活用したワークショップやウォーキングなどを開催するなど積極的な広報活動に努めます。 	文化課	5,781	10,908	9,737
		生涯学習ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ボランティアシステムは、毎年ボランティア名簿を作成し、市民の学習活動への支援と登録者自身のボランティア活動の促進を図っています。令和3年度は、登録者自身がコロナ禍で思うような活動ができないなかでも、新しい生活様式に即した学びのスタイルを提案できるよう、登録者向けに自己紹介動画の作成やZoomでの講座開催に関するオンライン研修を実施し、活動の促進に努めました。今後もボランティアの方々が十分にその特性・能力を発揮できるよう、環境整備等を含め検討を進めていきます。 	生涯学習課	49	49	49

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(9)	手賀沼アグリビジネスパーク事業については、農産物販売を中心に農業振興、地域振興を図り、歴史文化財を含めた地域資源を活用することで回遊性を高め、経済発展につなげられたい。農業振興については、有機農業の推進等の生産力の強化を行うとともに、新規就農者や農業後継者のさらなる支援を図られたい。産業振興については、商圈調査等の結果分析等を踏まえ、市民ニーズを的確に捉えた事業を進められたい。また、キャッシュレスポイント還元事業について、目的に沿った成果を詳細に検証されたい。労政については、若者（就職氷河期世代を含む）・女性・高齢者の就業支援の拡充及び就労機会の創出を図られたい。	手賀沼アグリビジネスパーク事業	・農業振興の拠点となる道の駅しょうなんの有効活用とともに、手賀沼周辺の地域資源の活用と地域連携によって、地域内の回遊性を高め、地域振興及び経済発展につながるまちづくりとなるよう進めていきます。	農政課	1,451,119	34,343	35,299
		農業振興	・引き続き、農業後継者や新規就農者など今後の農業を支えていく担い手確保、農地集積や農業用施設整備・機械導入の支援による生産性向上、柏産農産物のPRによる消費拡大に一体的に取り組んでいきます。 ・有機農業については、先進市の視察や農業者の声を聞きながら、本市に合った形を研究していきます。	農政課	150,482	89,671	147,904
		産業振興	・商圈調査の結果を踏まえて「産業振興戦略ビジョン」の一部改訂及び計画期間の延長を行います。また、本結果については、次期産業振興戦略ビジョン策定時にも活用します。なお、今回の商圈調査において、「商圈の拡大」「吸引率の低下」が示されたことから、今後も、商店会活性化補助金の活用等により、商業振興に取り組んでまいります。また、コロナ禍に伴う消費意欲の減退が課題としてあり、令和4年度では、その落ち込んだ消費を喚起するため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施しました。このキャッシュレス決済ポイント還元事業では、事業費約10.3億円に対して、市内で約60億円の消費があり、目的に対する一定の効果があつたものと認識しています。今後も引き続き、市民ニーズを把握するとともに、必要な施策を検討します。	商工振興課	194,674	0	10,000
		労政	・就職氷河期世代を含む若者に対しては、国が設置する地域若者サポートステーション事業と連携し、臨床心理士相談や就労に必要な知識や技能を習得するための市独自の各種プログラム等を行う若者の職業自立支援事業を実施するとともに、女性・高齢者に対しても、柏市シルバー人材センターや専門資格の習得等スキルアップを支援する柏工業専門学校、ハローワーク等とも連携を図りながら、就労支援に努めていきます。	商工振興課	35,188	35,435	35,628
(10)	柏駅西口北地区再開発事業については、市民・近隣住民並びに地権者の理解を得られるように努められたい。空き家対策事業については、「柏市空き家等適正管理条例」の着実な推進とともに空き家の抑制を図られたい。あけぼの山農業公園とあけぼの山公園の管理運営については、観光資源のポテンシャルを生かし、マイクロツーリズムやにぎわいの場として、繰り返し利用してもらう仕組みづくりと地域の発展に努められたい。公園費については、市民にとって居心地がよい公園、市内外から人が集まる魅力ある公園づくりを目指して、市としてのビジョンを明確にし、積極的に取り組まれたい。	柏駅西口北地区再開発事業	・柏駅西口北地区市街地再開発事業については、市民や近隣住民、地権者等の理解促進のため、柏駅西口北地区市街地再開発準備組合に対し、計画の検討状況の報告も含めた可能な限りの情報発信について申し入れを行い、「理事会の開催状況」や「活動内容のリーフレット」を同準備組合のホームページに掲載するなど、情報発信についての取組が改善されました。 ・更なる情報発信など、同事業に対する市民等の理解促進に向け、引き続き、同準備組合と調整を図っていきます。	中心市街地整備課	0	957	979
		空き家等対策事業	・令和4年度に空き家等実態調査を実施し、市内空き家の状況把握を進め、空家法に基づく柏市空き家等対策計画の改定を行いました。 ・実態調査において把握・確認した空家(1,739件)のうち、管理不全状態の空家(372件)については、空家法や条例に基づき、所有者等に対し適正な管理を促していきます。 ・空家所有者等への支援について、空家相談員制度による専門家を活用した適正管理等のサポートを継続するとともに、専門家団体と協働して専門家相談会の開催などを行っていきます。また、住まいの終活のPR等を通じて空家の発生抑制に努めます。 ・所有者のいない空家について、民法に基づき家庭裁判所に相続財産清算人選任申立を行い、空家の管理・清算を行っています。	住宅政策課	6,430	24,364	8,217
		あけぼの山農業公園とあけぼの山公園の管理運営	・あけぼの山農業公園、あけぼの山公園については、桜の名所やチューリップなどの四季折々の花を見ることが出来る公園であり、これらの花の強みを最大限活かし、市民の方々が誇れる「花を象徴とした公園」にしていきたいと考えています。そのため、管理運営を行う事業者をはじめとした、様々な民間事業者と連携し、公園の魅力向上に努めます。また、令和5年度においては、幹線道路から公園までの交通アクセスの改善の検討を進めます。	公園緑地課	11,790	18,513	35,951
		公園費	・令和元年度に、緑の基本計画を改定し、民間活力によるPark-PFIなど新たな公園整備手法を活用して、公園施設の整備や更新、公園の魅力向上を図っていくことを示しています。また、この改定と並行して、平成30年度に北柏ふるさと公園への飲食店導入、令和2年度に手賀の丘公園で民間によるキャンプ事業導入、令和4年度に柏ふるさと公園へ誰もが遊べる遊具の導入など、公園の魅力向上への取り組みを進めてきました。今後も引き続き、公園の魅力向上に取り組めます。	公園緑地課	2,466,719	1,680,515	1,630,067

番号	意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
(11)	交通政策については、コミュニティバス、ジャンボタクシー、オンデマンド交通等の活用を図るとともに、公共交通空白不便地域の早期解消に向けた取組を進められたい。また、駅のホームドアの設置を促進するよう関係機関に求められたい。市道・通学路の安全対策については、歩道の確保、路側帯やグリーンベルトの標示、信号機や横断歩道の設置、速度制限の見直し等を進めるとともに、引き続き必要な箇所の改修を着実に進めるよう努められたい。都市計画道路については、「柏市都市計画道路等整備プログラム」の見直しを図るとともに、より効果的な道路ネットワークの形成を図られたい。	交通政策	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月1日より、地域の移動需要に合った公共交通となるよう、かしわ乗合ジャンボタクシーの時刻表・ルート再編を行いました。来年度は、再編したジャンボタクシーの利用状況を注視しつつ、市民により親しみを持っていただけるような移動手段になるよう、昨年度に公募を行った愛称の設定や車両ラッピングの検討を進めています。 ・公共交通空白不便地域における対策については、平成30年度に策定した「柏市地域公共交通網形成計画」において短期施策に位置付けており、令和4年度は、令和3年度までにアンケート調査を実施した4地域において、ヒアリング調査を実施しました。また、令和3年10月26日より布施地域の利根町会にて実証運行中のコミュニティタクシー「とねっこタクシー」については、多くのかたにご利用いただき、実証運行継続基準である9人/月を上回ったことから、令和4年10月26日より2年目の実証運行を開始しています。来年度以降には、「とねっこタクシー」と同様のコミュニティ交通を、他の地域でも予定しています。 ・市内駅のホームドアの整備については、令和3年10月から令和4年1月にかけて、常磐線各駅停車の南柏駅、柏駅、北柏駅のホームドアが供用開始されました。常磐線快速柏駅のホームドアについては、JR東日本より2031年度末までに整備する計画であると聞いていますが、引き続き、千葉県と県内自治体で構成される千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じ、ホームドアの早期整備を含めたJR東日本への要望活動を行ってまいります。 	交通政策課	408,808	57,844	65,535
		市道・通学路の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市道・通学路の安全対策については、日頃の道路パトロールや市民からの情報提供等をもとに、危険箇所の早期発見・早期改善に努めているほか、「柏市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校・教育委員会・道路管理者・警察といった各関係機関が連携を図りながら、通学路の点検や安全対策を講じております。また、信号機や横断歩道の設置要望等があった場合については、管理者である公安委員会（柏警察）へ要請をおこなっております。 ・今後につきましても、これらの取組を着実に進めてまいります。 	児童生徒課 道路保全課	57,584	79,829	75,284
		都市計画道路	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の整備については、現在施行中の事業路線の早期完成に努めます。また、効率的な路線整備の推進のために、今後、事業進捗状況を鑑み、市内の交通状況等を踏まえ柏市都市計画道路等整備プログラムの見直しを図っていきます。 	道路整備課	182,529	306,463	270,255

2 病院事業会計

(単位：千円)

意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
市立柏病院においては、在宅支援、感染症対策、災害時対応など、公立病院としての積極的な役割を果たされたい。	在宅支援	在宅支援では、現在、全4病棟のうち1病棟を地域包括ケア病棟としており、主に手術等の急性期治療を経過した患者を受入れ、リハビリ等を行い、在宅復帰の支援を行っています。今後は、在宅患者の受入れを強化するなど機能充実を図り、在宅支援強化に努めていきます。	医療公社管理課	200,000	200,000	140,000
	感染症対策	感染症対策では、これまで新型コロナウイルス感染症への対応として、発熱外来や、感染者の入院診療、院内におけるPCR検査、予防接種などを実施してきました。今後も、感染症法上の位置づけ移行にあたり、国が示す段階的な移行の方向性を見極めつつ、適切に感染症対応に努めていきます。		0	0	0
	災害時対応	(公財) 柏市医療公社と連携し、災害対策マニュアルの院内周知や訓練を実施することで、災害医療協力病院として、災害時に傷病者をトリアージし、応急処置や必要な患者を収容する体制を整えます。		0	0	0

3 水道事業会計

(単位：千円)

意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
水道事業については、ランニングコスト的に有利な自己水（地下水）の受水割合を減らさぬよう、北千葉広域水道企業団からの受水量を調整するとともに、危機管理の面からも保持していく方針である水源井戸の維持・管理・更新に積極的に取り組まされたい。あわせて水道管の老朽化対策を速やかに進められたい。また、安心安全な水の供給に努めるとともに、さらなる節水意識の高揚を図られたい。	北千葉広域水道企業団からの受水量調整	北千葉広域水道企業団からの受水に関しては水需給の動向に留意しながら、適正な受水量を判断し、要望等を行っています。	上下水道局経営企画課	2,506,862	2,512,437	2,512,437
	水源井戸の維持・管理・更新	「柏市水道ビジョン」に基づき、30年～50年経過した施設や設備、また耐震性の低いものもあることから、配水池建替え事業や耐震化事業を実施し、安定供給機能の強化に努めます。今後、老朽化した井戸の掘り替え工事を行う予定であり、地下水の水量や水質維持に努めます。		1,403,133	1,117,530	1,460,044
	水道管の老朽化対策	水道管の老朽化対策については、水道施設更新計画に基づき、老朽管の更新事業を進めています。		1,674,399	1,850,000	1,850,000
	節水意識の高揚	ホームページや広報誌及びイベントへの参加など積極的に機会を捉えて、節水意識の啓発を継続して実施していきます。		0	0	0

4 下水道事業会計

(単位：千円)

意見・要望	項目	対応状況	対応部署	R3年度 決算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
下水道事業については、下水道普及率、特に雨水管の普及率を高め、老朽施設の改修に積極的に取り組むとともに、整備が間に合わず浸水のおそれのあるところについては、雨水浸透ますの設置など具体的な対応に努められたい。	下水道普及率を高める	令和3年度末の下水道処理人口普及率（下水道処理人口/行政区域人口）は90.6%となり、引き続き衛生的で快適な生活環境を整えるよう整備を進めています。 都市浸水対策達成率（整備面積/全体計画面積）は22.4%となります。引き続き、浸水被害の大きい地区を優先して雨水管の整備を進め、都市浸水対策達成率の向上に努めます。	上下水道局経営企画課	1,731,361	994,967	1,189,744
	老朽施設の改修	平成30年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、下水道管きよの調査・点検・改築について、予防保全型の維持管理を行うための包括的民間委託を実施しています。令和5年1月からは、第1期の包括的民間委託の点検・調査結果を反映したストックマネジメント計画の見直しを行い、更なる老朽化対策の効率的な取り組みと事業予算の平準化を図っていきます。なお、雨水浸透ますの設置については、一般会計で行います。	上下水道局経営企画課 河川排水課	1,399,113	523,666	673,300